

初めまして、八千代市国際交流協会です。
今年1月に設立したばかり、生まれたてのほやほやです。
これから、このcliP(くりっピー)を通して、
私達の活動や、イベントなどの情報を皆さんにお知らせして
いきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願ひします。



“みんなの心をつなげる 温かい協会を目指します”

-Yachiyo International Association



雪の降り積もる平成18年1月21日(土)、足掛け4年に渡って議論し、準備を進めてきた八千代市国際交流協会の設立総会が、京成バラ園レストラン「ラ・ローズ」にて開催されました。当日は、設立準備を進めてきた関係4団体から選出された設立準備委員及び関係者が参集のもと開会宣言がなされ、設立総会までの経過報告の後、平成17年度事業計画案及び予算案と役員承認の3議案の採決が行われました。平成17年度事業計画及び予算案については、総会設立時事業費、広報事業費、部会事業費等の事業費として46万円、国際交流協会ロゴ制作委託料や事務機器の備品購入費等の事務費として23万円、予備費として5万円の総額74万円が提案され、また協会のロゴ案が披露されました。役員としては、会長に周郷紀男氏、副会長に阿部政宏氏、瀬下和正氏、斉藤貴美子氏、監事に安藤浩氏、桑原将彦氏、理事に美川克子氏、佐藤正行氏、真崎貴美枝氏、長尾みち子氏、岩井覚氏、秋葉琢磨氏、会計に山口勇氏、鈴

木幸一氏の総勢14名の理事が提案され、3議案とも原案どおり可決し国際交流協会の初代の執行体制と事業予算が成立しました。

総会の後、初代の名誉会長に就任した豊田俊郎市長や、来賓として鈴木廣八千代警察署長、近隣市国際交流協会長、ALT(英語指導助手)、市の関係者も出席して盛大に設立パーティーが開かれました。

*個人会員の入会につきましては、18年度中に準備が整い次第、八千代市国際交流協会会報cLiPや市広報で募集させていただく予定です。申し訳ありませんがもうしばらくお待ちください。

八千代市国際交流協会ロゴ ▶



名誉会長のお祝いの言葉

八千代市長
豊田 俊郎



このたびは、八千代市国際交流協会の設立、誠におめでとうございます。この国際交流協会の設立につきましては、平成元年以降、八千代市国際交流推進懇談会や、八千代市国際化推進基本計画懇談会、また、平成11年度に策定された第3総合計画の中においても、常に望まれてきたところでございます。

そのような中で、市民の皆様からは「近隣市では、ずいぶん前に国際交流協会を設立し、活発な活動を展開しているというのに、なぜ、八千代では早く作らないのか」というような厳しいお言葉をいただいたこともございました。しかしながら、パートナーシップによる地域づくりを進める本市といたしましては、主役である市民の皆様の手によって、中身のしっかりとした、八千代市ならではの国際交流協会が設立できることを期待し、望んでおりました。

私は、パートナーシップによる地域づくりとは、市民と行政が共通認識を持ち、それぞれの役割を果たしながら、共に八千代らしさを創造し、ふるさととしての愛着を持てるまちを築くことであると考えております。

このたびの八千代市国際交流協会の設立につきましては、長年、市内でご活躍いただいている、国際交流関係団体の皆様が15回にわたって議論を重ね、ここまで積み上げてきたものだと同様でした。まさに、市民主体による行政との連携した地域づくりの大きな1歩であると強く感じると共に、ご尽力いただいた皆様に心より感謝を申し上げます。今後とも、多文化共生推進に向けてのご理解とご支援を賜いますよう、よろしくお願いいたします。



会長あいさつ

八千代市国際交流協会 会長
周郷 紀男



八千代市には現在、59カ国約3,800人の方が外国人登録をしております。今まではいくつかの市民団体によって、様々な国際交流や国際支援活動が実施されてまいりました。それぞれの団体が長年にわたり独自性を持った活動を展開してきたために、国際交流協会を個人会員ベースで立ち上げることが大変難しく、設立の壁になっておりました。

そこで平成16年4月に各団体が集まり、まずは団体同士の連絡会という形で話し合いをスタートいたしました。話し合いを重ねるうちに、市内の国際窓口を一本化するためには国際交流協会が必要であり、初めは既存の4団体を生かした連合体という形で設立し、お互いに協力しながらよりよい形にしていこうという結果になりました。しばらくの間は、4団体で部会を構成し、企画、国際姉妹都市交流、語学ボランティア、日本語指導、国際交流の促進という事業を実施してまいります。近い将来には、個人会員ベースの会にしていく予定ですので、個人会員の募集については大変申し訳ございませんが、準備が整うまでもうしばらくお時間を頂けたら幸いです。

さて、八千代市国際交流協会設立に当たりましては、千葉県国際交流センターをはじめ、近隣市の国際交流協会の皆様にご協力を賜りましたことを心より感謝申し上げます。今後とも、よろしくご指導ご鞭撻くださいますようお願い申し上げます。

最近では、コミュニケーションの不足から、外国人居住者とのトラブルや犯罪につながる可能性があるという話を耳にいたしました。このような問題を未然に防ぐためにも、国際交流協会の設立が在住外国人を含めた市民のネットワーク作りのきっかけになればと考えております。

八千代市国際交流協会設立までの流れ

平成14年8月28日(火)、市内で活動している国際交流関係団体の代表者が初めて集まり「(仮称)国際交流協会」を設立するための連絡会議を開催。名称は「八千代市国際交流協会設立準備会」、議長は周郷紀男氏に決定しました。

その後、同年11月21日と平成15年10月28日に準備会を開催し、各団体の活動報告を行い、お互いの活動について理解を深めました。

本格的に設立に向けて動き出したのは、平成16年度第1回の会合(4月27日実施)からで、第2回の準備会(8月7日実施)には各団体から17人が参加し、しばらくは「八千代市国際交流団体連絡協議会」として、2~3ヶ月に一度定期的に集まりながら、国際交流協会の設立について議論を重ねて進めていこうということになりました。10月23日の連絡協議会では、八千代の国際

交流の窓口を一本にしていこうという共通認識を持ち、国際交流協会の設立に向けて具体的な検討を進めるため、各団体の代表者で構成する専門委員会を組織することになりました。

「八千代市国際交流団体連絡協議会専門委員会」は、平成16年12月4日を第1回目とし、平成17年10月18日までに、8回実施されました。(専門委員は、周郷議長、八千代国際促進協会：阿部氏、八千代語学ボランティアの会：瀬下氏、八千代国際交流友の会：高野氏、日本語指導ボランティア：美川氏・斉藤氏、八千代国際姉妹都市委員会：山口氏の7人。)

専門委員会で話し合う内容については、平成17年10月18日に開催された第8回をもってすべて終了したため、平成17年11月28日(月)の全体会で各団体の会員に報告をし、承認を得て設立の運びとなりました。



八千代から親善訪問団が 国際姉妹都市の米国タイラーへ

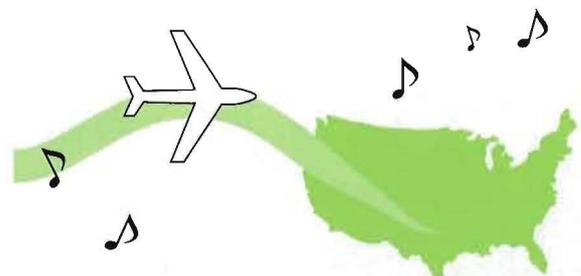
八千代市長を名誉団長とする、八千代市国際交流協会（国際姉妹都市部会）親善訪問団20人が、3月26日（日）～4月1日（土）国際姉妹都市のアメリカ合衆国テキサス州タイラー市を訪問します。八千代市からの訪問団派遣は7回目になります。今回は八千代少年少女合唱団の親善訪問とも時期が重なり、八千代市からは総勢90人がタイラー市に滞在することになります。

訪問団は、市長表敬訪問や警察署訪問、テキサス大学付属医療センター・石油博物館などの施設見学や、タイラー・ジュニア・カレッジと八千代少年少女合唱団とのジョイントコンサートに参加する予定です。

参加者からは「タイラーの皆さんといっしょに、充実した時間を過ごすことができるのでは」という期待の声。また、八千代市国際交流協会会長であり訪問団団長の周郷氏は「タイラー市を訪問するた

びに、いつも温かい思いやりの心に触れ感動します。今回の参加者の皆さんにも、この訪問を通して体験したことを八千代に帰ってから、国際姉妹都市との親善交流に生かしてもらえれば」と話していました。

なお、八千代少年少女合唱団は、3月30日（木）～4月2日（日）ニューヨークのグラウンドゼロや国連本部で、同時多発テロの追悼公演「平和の祈りを世界へ」を開催します。たくさんの人の心に大きな感動を残して帰国することでしょう。



八千代市国際交流協会 平成17年度予算

【収入】

単位：円

科	目	摘要
1. 会費収入	1. 会費収入	10,000 × 4団体 = 40,000
2. 補助金	2. 市補助金	700,000
合 計		740,000

【支出】

単位：円

科	目	本年度	摘要	
1. 事業費 460,000	1. 設立総会 190,000	1. 需用費	188,000 設立総会開催費用 50人×3,500円×1.05 = 183,750 消耗品費 4,250	
		2. 役員費	2,000 開催通知郵送料	
	2. 広報事業費 150,000	1. 需用費	100,000 消耗品費 5,000 会報印刷(6,000部) 90,000 写真現像代 5,000	
		2. 役員費	50,000 郵送料	
	3. 部会事業費 120,000	1. 部会事業費	120,000 4部会×30,000円 = 120,000 姉妹都市部会・国際交流推進部会 語学ボランティア部会・ 日本語指導部会	
	2. 事務費 280,000	1. 事務費 280,000	1. 需用費	50,000 消耗品費 印鑑・ゴム印・事務用品等 50,000
			2. 委託料	30,000 国際交流協会ロゴ制作委託料
			3. 備品購入費	150,000 事務用機器 150,000
	3. 予備費 50,000	1. 予備費 50,000	1. 予備費	50,000
合 計		740,000		

編集後記

八千代市国際交流協会の第一弾の広報紙を作るにあたりその名称を「cliP[くりっピー]」と命名した。“Clip”（クリップ）はご存知のとおり、紙をとめる事務用品であるがその特性から本紙では拡大解釈して“人々をつなぐ、心をとめるもの”という意味を込めた。また最後の「P」を大文字にしたのは人々を表す“People”を意味している。まさしく産声を上げたばかりの八千代市交際交流協会がこれから何年経っても八千代市と世界、八千代市民と世界の人々、そして国際交流に関心を持つ多くの八千代市民同士をつなぐ団体でありたいと願ってのことだ。またこの「cliP」がそんな精神を反映させながら、生き生きとした八千代市民の国際交流活動を伝え、八千代市民のさらなる国際理解と国際化意識を深めることへ寄与できればと願っている。

(山口)

cliP[くりっピー]第1号 2006年3月25日発行
企画委員会 Y I A パブリケーションズ
〒276-8501 千葉県八千代市大和田新田312-5
八千代市役所企画財政部文化国際室内
TEL. 047(483)1151